

## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,186	△17.7	△8	—	△64	—	△123	—
28年3月期第1四半期	1,442	△9.1	41	79.3	8	454.9	13	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △132百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△6.53	—
28年3月期第1四半期	0.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,340	—	1,129	—	17.8	—
28年3月期	6,674	—	1,262	—	18.9	—

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,129百万円 28年3月期 1,262百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	2,687	△6.7	17	△59.1	2	△89.1	△50	—	△2.64
通期	5,803	8.6	160	—	116	—	54	—	2.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	18,950,540 株	28年3月期	18,950,540 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	709 株	28年3月期	709 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	18,949,831 株	28年3月期1Q	15,949,831 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、失業率が低水準で推移している下で、好調な個人消費により、景気が回復を続け、ヨーロッパ地域では、英国、ドイツなどで景気が回復しており、中国では、消費は堅調なもの固定資産投資の伸びが弱まり景気は減速しております。日本経済は、消費者マインドの足踏みにより個人消費はおおむね横ばいになり、企業収益は高い水準にあるものの、設備投資の持ち直しが進まず、景気は弱さをみせております。

南米で景気低迷が継続していることの影響、欧州を中心とした教育関係需要の低迷などにより、プロジェクターへの需要が低調であり、これに加えて、プロジェクター製造のサプライチェーンが、今年4月以降に発生している熊本地震の影響を受けたことから、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズへの需要は減少いたしました。

本社工場(千葉県柏市)のガラス溶融炉1基を今年4月に停止することなどにより固定費削減は進みましたが、反射鏡及びフライアイレンズの需要減による売上高の減少を挽回するには至りませんでした。

取得に際し補助金の交付を受けているフライアイ製造設備の一部について他の事業に転用する財産処分が承認されたため、補助金返還損17百万円を特別損失に計上し、固定資産圧縮額戻入益9百万円を特別利益に計上いたしました。今年5月16日に開始した希望退職の募集は、応募がほぼ募集人員に達したため、今年6月末に締め切るとともに、希望退職関連費用47百万円を特別損失に計上いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,186百万円(前第1四半期連結累計期間比17.7%減)、経常損失64百万円(前第1四半期連結累計期間の経常利益8百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失123百万円(前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は13百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は831百万円と前年同期と比べ284百万円(25.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は121百万円と前年と比べ103百万円(46.1%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比31.0%減少し、売上高は27.5%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で17.4%減少し、売上高は20.7%減少いたしました。

#### ②照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は142百万円と前年同期と比べ3百万円(2.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は27百万円と前年と比べ4百万円(21.8%)の増益となりました。一般照明の売上高は減少しましたが、カーナビ用等特殊カバーガラスの売上高が増加しました。

#### ③その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は212百万円と前年同期と比べ31百万円(17.5%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は39百万円と前年と比べ64百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は103百万円)の増益となりました。フリット(ガラス粉末)の売上高が増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて334百万円減少し、6,340百万円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ304百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が224百万円減少し、受取手形及び売掛金が126百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ29百万円の減少となりました。土地を除く有形固定資産が2百万円減少し、投資有価証券が26百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ334百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ25百万円の減少となりました。この主な要因は、未払金が58百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ175百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が156百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は201百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ132百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が123百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想から変更はありません。今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はございません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	776,671	552,132
受取手形及び売掛金	829,801	703,065
商品及び製品	525,426	632,338
仕掛品	451,181	451,669
原材料及び貯蔵品	58,821	54,707
その他	124,280	67,384
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	2,766,166	2,461,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,321,223	1,295,998
機械装置及び運搬具(純額)	774,519	768,433
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	76,105	67,765
その他(純額)	605,310	642,908
有形固定資産合計	3,480,174	3,478,119
無形固定資産	13,861	12,645
投資その他の資産		
投資有価証券	313,771	287,458
その他	100,772	101,220
投資その他の資産合計	414,544	388,679
固定資産合計	3,908,580	3,879,443
資産合計	6,674,746	6,340,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,803	433,033
短期借入金	124,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	633,977	633,434
リース債務	55,070	52,398
未払法人税等	14,653	4,154
賞与引当金	49,239	73,271
未払金	286,281	227,779
その他	97,269	149,604
流動負債合計	1,719,294	1,693,676
固定負債		
長期借入金	3,325,079	3,169,009
リース債務	49,371	37,601
繰延税金負債	21,166	19,466
退職給付に係る負債	241,144	233,645
資産除去債務	41,405	42,739
その他	14,635	14,635
固定負債合計	3,692,802	3,517,098
負債合計	5,412,096	5,210,774
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,070,121	2,070,121

資本剰余金	309,093	309,093
利益剰余金	△1,164,525	△1,288,225
自己株式	△421	△421
株主資本合計	1,214,268	1,090,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,135	21,619
為替換算調整勘定	29,082	17,663
退職給付に係る調整累計額	△11,836	102
その他の包括利益累計額合計	48,381	39,384
純資産合計	1,262,649	1,129,952
負債純資産合計	6,674,746	6,340,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,442,596	1,186,569
売上原価	1,082,765	870,142
売上総利益	359,831	316,426
販売費及び一般管理費		
役員報酬	16,759	18,694
給料及び手当	103,564	96,684
退職給付費用	4,707	5,065
減価償却費	10,199	9,311
旅費及び交通費	13,710	10,936
支払手数料	17,193	15,842
運賃	20,367	20,252
賞与引当金繰入額	10,843	9,266
研究開発費	64,373	50,584
その他	56,947	88,330
販売費及び一般管理費合計	318,667	324,968
営業利益又は営業損失(△)	41,164	△8,542
営業外収益		
受取利息	214	23
受取配当金	3,406	2,239
為替差益	8,171	-
助成金収入	6,430	101
業務受託料	7,384	5,931
その他	1,979	1,787
営業外収益合計	27,587	10,083
営業外費用		
支払利息	18,160	14,872
為替差損	-	33,097
持分法による投資損失	41,413	16,498
その他	680	1,841
営業外費用合計	60,254	66,309
経常利益又は経常損失(△)	8,496	△64,768
特別利益		
固定資産売却益	1,974	-
投資有価証券売却益	15,428	-
固定資産圧縮額戻入益	-	9,483
特別利益合計	17,402	9,483
特別損失		
固定資産除却損	4,534	0
補助金返還損	-	17,669
希望退職関連費用	-	47,762
特別損失合計	4,534	65,432
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	21,365	△120,717
法人税、住民税及び事業税	7,420	2,723
法人税等調整額	253	260
法人税等合計	7,674	2,983
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,691	△123,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-

親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,691	△123,700
---------------------------------------	--------	----------

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,691	△123,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,192	△9,516
繰延ヘッジ損益	△131	-
為替換算調整勘定	4,752	△11,419
退職給付に係る調整額	△172	11,938
その他の包括利益合計	11,641	△8,996
四半期包括利益	25,332	△132,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,332	△132,697
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,115,480	146,534	1,262,014	180,581	1,442,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,115,480	146,534	1,262,014	180,581	1,442,596
セグメント利益又は損失(△)	224,540	22,177	246,718	△103,264	143,454

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,718
「その他」の区分の損失(△)	△103,264
全社費用(注)	△102,290
四半期連結損益計算書の営業利益	41,164

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	831,455	142,882	974,337	212,231	1,186,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	831,455	142,882	974,337	212,231	1,186,569
セグメント利益又は損失(△)	121,061	27,017	148,079	△39,133	108,945

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,079
「その他」の区分の損失(△)	△39,133
全社費用(注)	△117,488
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△8,542

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。